

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月 15日

事業所名 キッズハウスOKAY

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	2	3			指導員の配置と連携に配慮しています。
	2	職員の配置数は適切である	4		1	児童の安全確保と適 切な指導体制を確保 するため、必要数の 職員を配置していま す。	1対1対応の児童への個別の対応と考える時 にはより多くの職員をと考える場合もありま す。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされている			5		利用している児童はバリアフリー化の配慮を 必要としていないが、今後、必要とする利用 者ため改善していく必要がある。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画して いる	3	2		月1回の研修日 に、振り返りの時間 を設けている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている	4	1			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	3	1	1		今回の結果を集計し、改善策を検討した後、 ホームページで公開する
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	2	3			まだ第三者評価を導入していない今後の検 討課題とする
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	2	1	1		職務に通じる研修は事業所として積極的に 応援している。
適切な支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	4	1			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使用 している	3	2			事業所はHGUのアセスメントシートを使用し ているが、参考資料等を基に必要項目の追 加などを行う
	11	活動プログラムの立案をチームで行ってい る	3	2		日々の活動の詳細な 計画はその日リード する職員が時間等の 組み立てをしている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	4	1			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	4	1			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ放課後等デイサービ ス計画を作成している	2	1	2	集団の活動の場でも、 児童の状況に応じ 個別対応が必要な 場合は臨機応変な対 応を心掛けている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認している	4	1			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	4	1			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	5				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイ サービス計画の見直しの必要性を判断して いる	5				
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み 合わせて支援を行っている	3	1	1		ガイドライン内容の勉強会等を行い、活動に 反映できるよう努力していく。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	5				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	4	1			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	1	4			現在医療的ケアが必要な児童の受け入れ は設備の都合上行っていないが、受け入れ を検討する場合には受け入れ態勢を整えま す
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	4		1		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	1	3	1	保護者の要請、同意 に基づき当事業所 における支援内容の情 報を提供しています。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている		1	4		状況を見ながら、積極的に連携を行いた いと思います。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	1	2	2	公園の利用などを通 じて地域の子どもた ちと関わる機会を設 けています。	同法人保育所、学童との交流や、地域の行 事への参加で、より機会を持てるようにしま す。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している		1	4		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	5				
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている		1	4		ペアレントトレーニング等の対応の支援はま だ行っていない。今後準備を行い取り入れて いきます。	
保護者 への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	2	3			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	2	2	1	保護者からの質問や 悩み等には、職員間 で共有し事業所全体 でフォローしていくよ うにしている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している			5		状況を見ながら、今後検討する
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	3	1	1	職員全員で対応 を協議し、迅速に 丁寧な対応を 行っている	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	5				SNS活用の工夫、情報の発信を行います。
	35	個人情報に十分注意している	5				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	4	1			
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている		1	4		状況を見ながら、同一法人内の学童との交 流等を行っていきます。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	1		職員間で研修等を通して周知している。	保護者への周知に努めます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	1			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4		1	職員への周知徹底を図るため、研修内容へ組み込んでいます。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	2	1		身体拘束の必要な利用者は現在いない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4		1		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	2	1		職員全体への周知に努めます。